

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		基準点測量事業						☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり				所属部	都市建設部	課長名	上原哲也
	施策	6	計画的な土地利用の推進				所属課	建設課	担当者名	坂本夕佳
	基本事業	17	計画的な市街地の形成				所属班	管理計画班	(内線)	2272
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果		
		1	8	2	2	10151		コスト削減優先度評価結果		
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	地球上の位置や海面からの高さが正確に測定された三角点、水準点から導き出し、地図作成や各種測量の基準として設置している。また、土地の境界や面積が再現されるなど、個人の財産を守ることに役立っています。 測量に基準点はなくはないので、設置を開始した 合志市では、測量が必要な事業がたくさんある
【業務の流れ】	基準点の管理 設置箇所調査、設計、発注、検査、支払い
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	基準点がない箇所が多いので、もっとあったほうがよい

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)
3級基準点15点設置しました。

22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
基準点の管理(破損、紛失の調査)
3級基準点の設置

④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標

⇒ア 基準点設置数

(単位)

箇所

イ

(単位)

② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等
土地

⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標

⇒ア 合志市の面積

イ

(単位)

Km²

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
境界や面積が再現され、個人等の財産が守られる。

⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標

⇒ア 公共測量に伴う利用数

イ

(単位)

回

*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠

境界や面積を再現するためには、精度の高い基準点を市内に多く設けることで土地の管理が行いやすくなる。

(2) 各指標・総事業費の推移

	単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 箇所	725	739	754	754	769	784	
⑤ 対象指標	ア Km ²	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17	
⑥ 成果指標	ア 回	5	6	5	6	5		
投資 入 量	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	繰入金	千円						
	一般財源	千円	2,363	1,814	2,000	1,827	0	2,000
	(A) 事業費計	千円	2,363	1,814	2,000	1,827	0	2,000
	(A)のうち指定経費	千円						
	(A)のうち時間外、特勤	千円						
	正規職員従事人数	人	2	3	3	4	3	3
人 件 費	延べ業務時間	時間	15	180	180	230	180	180
	(B)人件費計	千円	60	720	716	915	716	716
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,423	2,534	2,716	2,742	716	2,716

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

合志市

事務事業名	基準点測量事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	---------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した	☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】	☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

以前から基準点を道路敷きに設置してきており、道路改良等で紛失する場合もあるので、事前に施工者への指導を行う。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐ 廃止
☐ 休止
☐ 目的再設定
☐ 事業統廃合・連携
☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
☐ 事業のやり方改善(効率性改善)
☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策